

**前橋市元総社公民館
公民館運営推進委員会**

令和元年度 第1回委員会

日 時 令和元年7月11日（木） 午後2時
場 所 元総社公民館 第1会議室

会議次第

1 開 会

2 委員委嘱

前橋市元総社公民館運営推進委員会 委員名簿（令和元年・2年度）・・・1頁

3 委員自己紹介

4 委員長あいさつ

5 議 事

(1) 令和元年度元総社公民館の体制と施設の状況 ・・・ 2頁～5頁

①職員事務分担表

②施設概要

(2) 令和元年度元総社公民館の運営方針と事業計画 ・・・ 6頁～12頁

①重点施策

②地域資源を生かしたコミュニティデザイン

③実施予定事業の概要

(3) 関係団体について ・・・ 13頁～14頁

①元総社公民館利用団体

※ 関係条例・規則 ・・・ 15頁～20頁

6 意見交換

7 閉 会

令和元・2年度 前橋市元総社公民館運営推進委員会 委員名簿

任期:令和3年6月30日 (敬称略)

No.	氏名	所属団体・役職名	住所	電話	区分	備考
1	早乙女俊夫	元総社小学校 校長			学校教育 関係者	
2	中村正	元総社中学校 校長				
3	金井和夫	元総社地区民生委員 児童委員協議会 会長				
4	結城新一	元総社地区子ども会 育成団体連絡協議会 会長				
5	城田秀夫	元総社地区 体育推進委員会 会長			社会教育 関係者	
6	石井宏樹	元総社公民館 利用自主グループ 連絡協議会 会長				
7	大関三枝子	元総社地区 ボランティア連絡会 会長				
8	奥野美代子	元総社地区 保健推進委員会 会長				
9	阿部明雄	元総社地区 自治会連合会 会長			学識経験者	
10	林悦実	元総社地区 生涯学習奨励員 連絡協議会 会長				

令和元年度元総社公民館の重点施策

元総社公民館

1 目的

公民館は、地域を基盤とした社会教育施設であることをふまえ、本公民館においても、地域性を反映した公民館運営を進めていく。また、地域住民が学習を通じて互いに連携し、地域に対する理解を深め、学んだ成果を地域で発揮していくことにより地域づくりが進められるよう努める。

2 本年度の重点施策

今年度の元総社公民館における重点的な施策は以下のとおり。

(1) 子育て・親子支援

本地区は、アパート、寮、公務員宿舎などが多く、比較的他市からの転勤者が多い地区である。潜在的に子育てに困っている保護者が多いことから、家庭教育に関する事業を実施し、子育て環境の充実を図る。

- ①元総社すこやか学級やベビープログラム、子育て支援講座などの主催事業を開催する。
- ②元総社地区ボランティア連絡会と保健推進員会との共催で子育てサロン「かえるっ子」を支援する。
- ③公民館で活動している子育て団体の育成、支援を行う。

また、昨年度に引き続き、地区内住民を対象とした子育て支援講座を開催し、新たな人材の育成に努め、託児ボランティア活動の次世代の担い手に繋がる掘り起こしを継続的に行っていく。

(2) 青少年体験・チャレンジ活動

青少年関係団体等と連携した様々な事業の支援や少年教室などの主催事業を実施し、青少年の野外集団活動・創作活動・地域行事などへの参加を促進し、少年期の健全なる心身の発達を図る。具体的に下記の事業を実施する。

- ①青少年が地域活動に自主的に参加できるようインリーダー研修等の指導者養成を実施する。
- ②小学校高学年生を対象に子育連主催のリーダー研修を実施する。青少年が一泊の野外活動の経験を通して、参加者同士学校区を越えて交流を深める。
- ③のびゆく子どものつどいや元総社ふれあいまつりなどのイベントを通じて、地域の子どもたちの社会参加と世代間の交流を促進する。
- ④少年教室を実施し、子どもの情操や社会性を培い地域に対する愛着を深める。
- ⑤ボランティア連絡会と公民館の共催事業で、幼少期から少年期にかけた児童を対象とした「プレイルーム元総社」を実施し、世代や学校区を越えた交流を図り、子どもの豊かな心を育む。

(3) 生涯学習奨励員活動支援

生涯学習奨励員の活動支援・推進のため、また、自治会長との連携をよりよいものにするため、各種の研修会や講座を設ける。

① 観察研修

奨励員と自治会長合同の観察研修。前橋及び近隣の地域の歴史遺産を観察し交流と研鑽を深める。

② 奨励員単独研修 奨励員のための個々の研鑽を高める研修事業

③ 出前講座を活用した研修

奨励員と自治会長合同の研修講座で、市の出前講座を活用して共通の学びを通して研鑽と交流を図る。

(4) 自主学習グループ活動支援

自主学習グループ会員相互の親睦を深める事業を実施するとともに、各グループの学習成果を地域に還元する取り組みを支援する。

(5) 学び合い、人権、地域ふれあい

住民同志の交流や支えあい、歴史や伝統文化の継承など、多面的に講座を開催し、住民の主体的な地域づくりの取り組みを支援する。

① 地域を学ぶ歴史講座

国府を中心とする遺跡など、元総社の大切な歴史資源について学ぶ講座を設け、地域に対する愛着を醸成することを目的とする。

② 伝統文化の継承

伝統・文化の継承の場を創出し、世代間交流も含めた地域内での文化継承を推進する。講師には地元講師を依頼する予定

③ ベテラン学習講座

健康づくりや豊かなライフスタイル、また元総社地区の大切な歴史資源について学ぶ講座を実施し、地域住民として郷土を愛し心豊かな生活を営むための知識を得る。

④ 人権教育

地区内小中学校の生徒・児童が作成した人権教育に係る作品を、広く周知・提供することにより、人権意識の向上と啓発を図る。

⑤ 文化祭

公民館の自主グループの日頃の学習成果の発表の場である地区文化祭を開催する。併せて地域の各種団体が出し物・出店を文化祭の中で実施し、地域の一大イベントとして、住民の交流や活性化を図る。

また、子どもたちを対象にした勾玉作りコーナーや、総社神社太々神楽や上宿町獅子舞、大友町百万遍などの郷土芸能の発表コーナーを設け、幅広い年齢層が郷土の歴史に触れ、郷土に愛着を持ち、主体的に地域づくりに参加する姿勢を醸成する。

令和元年度 元総社公民館 実施予定事業の概要

1. 主催事業

事業の名称	事業の趣旨	主な内容	対象	開設期間・実施回数	参加予定者	予算額	備考
ブレイルーム 元総社 (青少年体験・チャレンジ活動)	文化的な活動や工作を通して、 (1)子どもの豊かな心を育む。 (2)学校や学生の絆を越えた交流の場を提供し、仲間づくりを進めめる。 (3)親子の交流の場を提供し、絆を深める。	①スポーツチャンバラ体験 ②デコパージュ ③こども電気教室 ④料理教室(らくがきせんべい) ⑤クリスマス会(人形劇)	年長～ 小学4年生	6月～12月・全5回を予定	延べ190人	予算額：48,800円 報償費：42,800円 需用費：6,000円	※ボランティア連絡会と共に催
元総社ペテラン 学習講座 (学び合い・人権、地域ふれあい)	急速に進行する高齢化をふまえ、 (1)地域の高齢者のつどいの場・仲間作りの場の提供 (2)健康に關心を持ち、喜び・生き甲斐を見出す機会は提供 (3)地域で活躍する人材の活用(学びの還元)	①「物忘れを防ぐ方法」 ②「初めてのスマートフォン」 ③歴史講座「近代日本と世界の流れ」 ④「スポーツ吹矢を楽しもう」 ⑤群馬ドリベリー楽園による出張ライブ ～あの名曲をセラード～	60歳以上	8月～10月・全5回を予定	20人 ※1・5回は公開講座	予算額：22,000円 報償費：10,000円 需用費：12,000円	※第1回以外前講座を活用
元総社少年 教室 (青少年体験・チャレンジ活動)	(1)創作体験や集団での活動を通して、自主的に考え工夫してものづくりをする力を育む。 (2)学年や学校、世代を超えた交流を通して子どもたちのコミュニケーション能力を向上させる。 (3)スポーツを楽しみながら、子どもたちの健維持及び体力向上を図る。	①陶芸教室 ②こどもcanfー教室 ③3D体操教室 ④おもしろサイエンス	地区小学生	7月～8月・6回を予定	延べ120人	予算額：33,200円 報償費：30,700円 需用費：2,500円	
生涯学習 奨励員研修 (生涯学習奨励員活動支援)	(1)生涯学習を目的とし、富岡・甘樂方面における歴史・文化の理解を深める。 (2)生涯学習奨励員と自治会長の連携を深め、地域の生涯学習の更なる活性化を目指す。 (合同研修2回には地元自治会長も参加) (3)生涯学習奨励員の資質向上を図る。	①合同視察研修 (10月24日富岡・甘樂方面) ②研修(12月実施中) ③合同研修(1月実施にて検討中)	生涯学習奨励員 自治会長	3回を予定・10月～1月	延べ 65人	予算額：123,623円 報償費：12,000円 委託料：106,623円 需用費：5,000円	
地域づくり 講座 (学び合い・人権、地域ふれあい)	歴史に関する講演会を開催し、地域の特色である歴史的資源への理解と郷土愛を深める。 上州ふるさとの味と健康づくりを通じて文化の伝統継承と地域住民の交流の場を提供する。	①歴史に関する講演会 ②ぐんまの伝統食を楽しむ会	地区住民	10月1回を予定 11～12月3回を予定	延べ200人	予算額：45,000円 報償費：36,000円 需用費：9,000円	
元総社すこやか 学級 (子育て・親子支援)	1 子育てに関する学習を通して (1)明るく心豊かな家庭を築こうとする意欲を高める。 (2)育児における実践力を養う。 2 同年齢の子どもをもつ親同士の交流や講師・託児協力者の交流を通して (1)子育てに対する不安や孤独感を和らげる。 (2)それぞれが充実した日常生活を営めるよう支援する。	①たこさんとあそぼう！ ～読み聞かせと歌あそび～ ②子育て井戸端会議 ③ほめて育てるコミュニケーション・トレーニング(ほめトレー！)入門 ④人形劇とタオルで簡単！ぬいぐるみづくり ⑤コラージュ作品づくり ～手形・足形を思い出に残そう～	未就園児(1歳)と その保護者	8月～10月・全5回を予定	親子20組	予算額：54,000円 報償費：48,000円 需用費：6,000円	※保育推進員・ボランティア連絡会員に託児協力を依頼

事業の名称	事業の趣旨	主な内容	対象	開設期間・実施回数	参加予定者	備考
情報提供事業 (情報提供事業)	「かんぽ元総社」発行を中心とした地域社会情報を住民に提供する。	①毎月15日発行 毎戸配布 (原則 A3判裏表二つ折り・4ページ) ②ホームページの充実 フェイスブックの活用	地区住民 (全世帯) 前橋市民	通常12回発行 随時(地区行事の前後、講座参加者募集等)	9,000部×12回 予算額 177,000円 需用費: 177,000円	
自主学習グループ リーダー研修 (自主学習グループ活動支援)	①自主グループリーダー及び会員相互の学び合いと交流を図る。 ②サークル活動やリーダー研修を通して身に着けた知識や技術の地域への還元	①グループ連絡調整会の開催 ②各種公民館講座へ講師として協力 自主グループリーダー研修の開催	公民館利用自主 学習グループ及び会員	①年1回12月頃 ②年1回2月頃	①40人 ②37人(リーダー研修)	予算額 9,000円

2 関連事業

事業の名称	事業の趣旨	主な内容	対象	開設期間・実施回数	参加予定者	備考
のびゆくこどものひのきのふれあいの広場 (合同開催)	前橋の子どもを育てる運動の一環として、全市で「のびゆくこどものひのきのふれあいの広場」と題して、地域住民の交流とふれあいの広場とし、子どもたちの健全育成をはかることを目的とする。	①元総社中学校吹奏楽部コンサート ②音楽ふれあいイベント ③ボニー乗馬体験・音の遊び・的あて・ペットボトルで體投げ ④キーホルダー・コーススター作り ⑤第三福利作業所によるパネル展示・バザー ⑥車いす体験 ⑦漫遊店	全住民	5月26日(日)	3,000人	地区実行委員会 市補助金 118,200円 市協同分金 104,000円 地区助成金 240,000円
地区文化祭	地域住民の学習・文化活動ながらに伝統芸能の継承活動等の成果発表を通して、地域の芸術文化の振興と向上を図り、併せて地域住民の連帯感を深めることを目的とする。	①作品展示 ②子ども広場 ③舞台発表 ④模擬店	地区住民	11月8・9・10日	作品展示 2,000人 子ども広場 700人 舞台発表 1,200人	地区実行委員会 予算額 110,000円
健康づくり促進事業	住民のスポーツ活動参加をとおして健康づくり、世代間相互の交流を図る。	①機関紙「さわやか通言」発行 ②健康づくり講演会開催 ③文化祭健康教室への参加	全住民	②講演会 31年1～2月	①9,000部×2回	環境保健推進協議会 保健推進員会
市民運動会 各種大会	地域住民のふれあい、連帯と協調、相互協力による社会福祉活動の推進	①各町対抗スポーツ大会(6種目) ②各種スポーツ大会(6種目) 在宅高齢者等ふれあい会食サービス 配分事業	全住民	①10月6日(日) ②年間	4,000人	地区実行委員会 体育推進委員会 市スカーフ協会 244,000円 社会福祉協議会 市民委員会 地域福祉研究会
社会福祉事業	地域に伝わる正月行事を体験を通して子どもから高齢者までの世代間交流を図る。また、地域の中では社会奉仕、文化活動等で貢献した児童・生徒を対象に顕彰を行つ。	①正月行事 ②子どもの善行表彰	全住民 親子	1月12日(日)	1,750人	青少年健全育成会・子育連 地区実行委員会組織
子ども会 ふれあいまつり	遊びの指導者を養成し、子どもからのお相談、指導援助活動を確立する。	①子ども会リーダー研修、②上毛カルタ大会、百人一首大会	地区内小学生	リーダー研修:夏秋2回 カルタ:11～1月		青少年健全育成会 子育連ほか
子育事業	住民の生活向上と自治会活動の推進		全住民	年間		自治会連合会・各自治会 関係団体
自治会活動						

地域資源を生かした コミュニケーションデザイン (出会い・発見編)

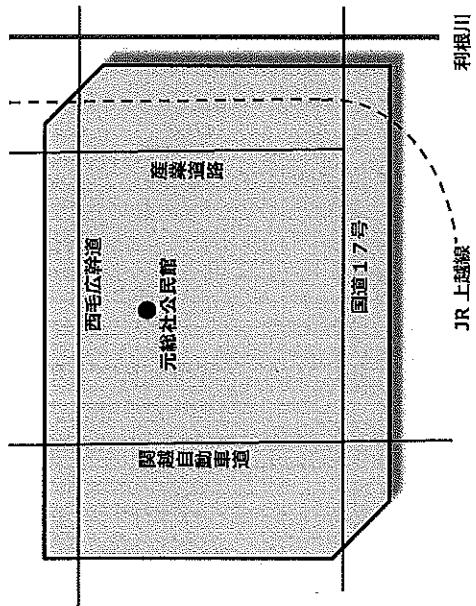
元総社地区は、国府関係の発掘物や総社神社などの豊かな史跡に恵まれ、それに伴う民俗芸能などもしっかり残っている豊かな地区です。また、西毛広域幹線道路の開通等による交通網の充実、また区画整理事業の進展や公共施設・教育機関の充実などにより都市機能の整備が総合的に進んでいる地区です。



文化遺産・民俗芸能

国府関係の発掘物
総社神社
西毛城跡
総社神社太々神樂
元総社四区獅子舞
大友町百万遍

元総社地区



公共施設

前橋警察署・市町村会館・大友兒童館 大友老人福祉センター
・シルバーパークセンター
・ジョブセントラルまえば
し・大庭トレーニングセンター
・大庭体育馆・群馬県総合
交通センター



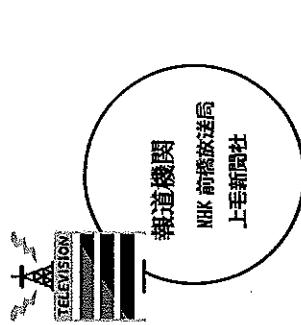
教育機関

元総社中学校・元総社小学校
元総社南小学校・元総社北小学校
校 元総社保育園・元総社幼稚園・群馬社会福祉専門学校



交通機関

国道17号(高崎バイパス)
西毛広幹道・関越自動車道
JR新前橋駅



医療・介護機関

老年痴呆研究所病院
包括支援センター
西部 介護老人保健施設あゆみ など

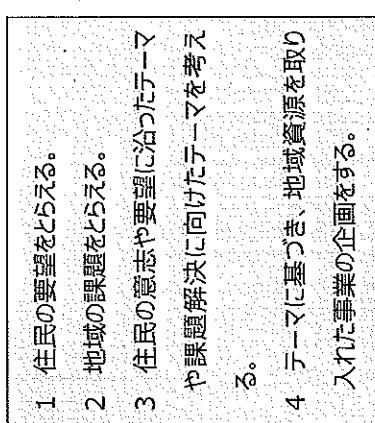
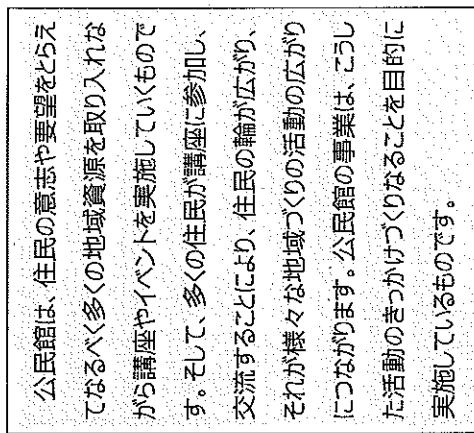
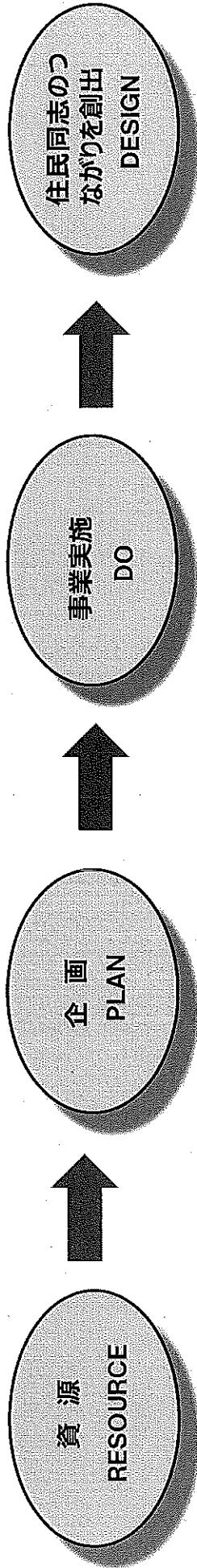
元総社地区の概要			
世帯数	8, 674世帯	人口	17, 137人
面積	6, 44 km ²		
(令和元年6月30日現在)			

元総社地区の自治会	
①元総社町第一③元総社町第二②元総社町第三④元総社町第四⑤大友町⑥大庭町⑦石倉町⑧石倉町中部⑨下石倉町⑩元総社町10区⑪鳥羽町東部⑫鳥羽町西部⑬間屋町	

地域資源を生かしたコミュニケーションデザイン

(願い・思い編)

この願い・思い編では、住民みんなさんの意志や要望を見つめながらして、出会い・発見編で示した地域資源を、どう生かしていくなら住民のみなさんが豊かに暮らしていくけるのかをテーマに、事業を企画し、実施していくプロセスを示したもののです。



- 教育機関
 - 交通機関
 - 医療・介護機関
 - 公共施設
 - 文化遺産・民族芸能
 - その他
- (出会い・発見編で示したもの)
- 豊かな地域づくりに向けた事業の企画

地域資源を生かした コミュニケーションデザイン（仕掛け編・つなぐ編）

この仕掛け編・つなぐ編では、願い・思い編で提示した考え方で平成31年度の元総社公民館の重点施策をデザイン化しました。その全体の目的は下記のとおりです。

目的 = 公民館は、地域を基盤とした社会教育施設であることをふまえ、本公民館において地域性を反映した公民館運営を進めていく。また、地域住民が学習を通じて互いに連携し、地域に対する理解を深め、学んだ成果を地域で発揮していくことにより地域づくりが進められるよう努める。

学び合い、人権、地域ふれあい

住民同志の交流や支え合い、歴史や伝統文化の継承など、多面的に講座を開催し、住民の主体的な地域づくりの取り組みを支援する。

- ・地域を学ぶ歴史講座（食文化）
- ・伝統文化の継承（手芸）
- ・人権教育による作品展示

地域性を反映した公民館運営

学びの成果を地域で発揮

豊かな元総社づくり

総合文化の祭典・文化祭

公民館の自主運営グループの日々の学習成果の発表の場である地区文化祭を開催する。併せて地区的各種団体が様々な出し物・出店を文化祭の中で実施し、地域の一大イベントとして住民の交流や活性化を図る。

- ・郷土芸能発表会ココロナーナー
- ・舞台発表会
- ・子ども不景品店
- ・出店、地域の也

元総社公民館



子育て、親子支援

本地区は地域からの元入居者が多く、現在の子育てに困っている保護者が多いことから、家庭教育に関する事業を実施し、子育て環境の充実を図る。

- ・元総社すこやか学校
- ・ペーパーローリング「かたづけ」支援
- ・子育て支援会議
- ・子育て支援会

青少年体験・チャレンジ活動

青少年団体が直営した様々な事業の支援や少年教室などの主催事業を充実し、青少年の野外活動・創作活動・地元行事などの参加を促進し、少年期の健全な心身の発達を図る。

- ・インナーテーブル「ターダー子育て支援会」
- ・子育てのくじ「ふれあひまつり」
- ・公民館ルームで開催する

自主学習グループ活動支援

自主学習グループ会員相互の絆を深めるなどして、各グループの学習成果を地域に還元する取組みを支援する。

- ・公民館主催講座への講師派遣

生涯学習奨励活動支援

生涯学習支援の活動支援、奨励のため、自治会等との連携を図り、ものにするため、各種の研修会や講座を実施する。

- ・講義研修
- ・視覚障害者用教材を利用した研修

